

# 阪神・淡路大震災 復興に向けての緊急提言

平成7年3月

土木学会・土木計画学研究委員会

委員長 黒川 洸

# 目 次

はじめに.....	1
A. 総論	
1 復興計画のあるべき姿.....	4
2 災害に強い都市構造と土地利用の方向.....	5
B. 各論	
1 港湾整備を核とする都市復興	
1.1 国際拠点港湾機能の再確立.....	6
1.2 港湾を中心とする街づくりの推進.....	6
1.3 防災拠点としての港湾機能の強化.....	6
1.4 港湾機能早期復旧のための構造上の配慮.....	7
2 南北軸の強化と拠点性の向上	
2.1 南北道路の整備によるラダー状道路網の構築.....	8
2.2 鉄道駅を結ぶ南北軸整備による被災地区の復興促進.....	8
2.3 鉄道ネットワーク整備による被災市街地の拠点性向上.....	9
2.4 河川を利用した機能コンプレックス空間の創出.....	9
2.5 観光都市神戸の新たな顔づくり.....	10
3 防災拠点の強化・オープンスペースの充実	
3.1 防災安全地区の整備.....	11
3.2 地域防災面からの駅前広場整備の推進.....	11
3.3 救援物資配送等のための緊急物流拠点の指定と活用.....	12
3.4 救急ヘリポート整備.....	13
4 より安全で快適な都市空間づくり	
4.1 都心三宮地区の本格的復興のためのインフラ整備.....	14
4.2 防災コミュニティ街路ネットワークの整備.....	15
4.3 部分的被災地区における面的整備の推進.....	16
5 信頼性の高いライフライン形成	
5.1 共同溝整備による信頼性の高いライフライン網の整備.....	17
5.2 電線の地中化の推進.....	17
5.3 補完機能を持つ水供給システム.....	17
5.4 防災面からみた下水処理水の有効利用.....	18
6 リダンダントで効率的な交通ネットワーク整備	
6.1 早急な全国幹線自動車道路の整備.....	20
6.2 幹線街路とバランスした都市高速道路の整備.....	20
6.3 交差点改良の促進.....	21
7. 交通安全の面から見た道路整備	
7.1 交通安全に配慮した幹線道路整備.....	22
7.2 交通安全に配慮した住区や商業地の道路整備.....	22
8. 土地・地図情報の整備	
8.1 現状調整地図（いわゆる区域図）の早期作成と地籍調査の実施.....	23
8.2 地理情報システムの整備.....	23
おわりに.....	24
謝辞.....	25